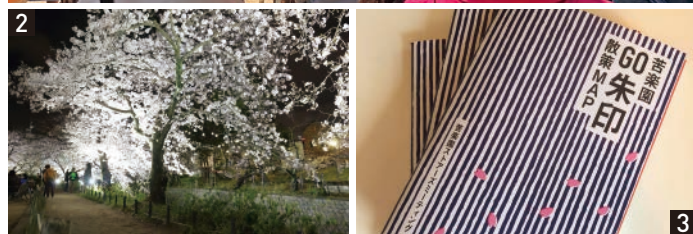




若い店主の発想力生かし“地域でお金を回す”

苦楽園ストアーズミーティング (西宮市)



1 2 西宮観光協会と協働で「西宮さくら祭」のステージイベントとライトアップを運営
3 スタンプラリーが楽しめる散策マップ 4 ハロウィーンイベントは10月30日(日)に3年ぶりに復活します

西宮市の苦楽園は古くからの高級住宅地として知られ、住民の生活に根付いた商店や飲食店が残る一方で、おしゃれな街のイメージに引かれ、新たに出店する人も多くいます。

苦楽園ストアーズミーティングの小川尚久会長は、苦楽園に近い夙川の生まれ。2000年に市内でアメリカンカジュアルと雑貨の店をオープンし、09年に現在地に移転しました。「かつては婦人向けのブティックばかりが並び、中高生だった自分が見える服屋さんがなく、いつか自分でそんな店を開こうと考えていました」。リーマンショック後の不況で周囲の店が次々に閉めていくのを目の当たりにし、街を盛り上げるには店同士の連携が欠かせないと考え、30~40代の店主8人で前身グループの「地元愛」を立ち上げ、その後、87店舗でストアーズミーティングを発足しました。

合言葉は「地域でお金を回す」。毎月、会議と懇親の場を設け、そこで出された桜のライトアップやマップ作りなどのアイデアを形にしたことで、街を回遊する客が増えていきました。店主一人一人が来店客の興味に応じてメンバーの店を紹介するなど、街にお金を落としてもらう意識をグループ内で徹底しています。

現在は180店舗が加盟し、市内の商店会では最多数を誇ります。今年5月に就任した小川会長がまず取り組んだのが役員の刷新で、出店1年から数年の店主に役員を任せました。「新しい視点で街を元気にしてほしい」との思いからで、狙い通り活動が活発化。早速、コロナ禍で中断していたハロウィーンイベントを復活することになり、既にコロナ前の2倍近い店の参加が決まっています。「2年の任期で会長を譲るつもり。常に新しい人たちの目でこれからも街を盛り上げていってほしい」と話します。

苦楽園ストアーズミーティング

西宮市菊谷町1-1ハイツ城南101 RAT★RACE内

☎0798-70-0855

🌐<https://ksm.kurakuen.info>